

第12回スポーツ振興賞 受賞作品概要

☆スポーツ振興大賞☆	
作品名	第6回 ロゲイニング in なごや (ロゲなご2023)
応募者	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー
<p>作品の概要</p> <p>ロゲイニングは設定されたチェックポイントを制限時間内に回って得点を積み上げるアウトドアナビゲーションスポーツである。「ロゲイニング」を通じて、健康促進、各地域への回遊性や魅力スポットの認知度を高める。チェックポイントを、観光スポットや「なごやめし」店舗に設定することで、スポーツと観光の両面から誘客を図り、効果的な人流と消費を創出。歴史や女子旅などの切り口で大会コンセプトを設定し老若男女がゲーム感覚で楽しむとともに、参加者自らが SNS 等へ地域の情報を発信するよう促している。様々な目的の参加者が同じフィールドでスポーツに取り組むことができ、コロナ禍においても三密にならないイベントとして一度も中止することなく継続して開催しているイベントである。本イベントは、約 50 社の協賛や公共交通機関との連携を通じ成長中であり、国内では唯一、1,000 人規模の参加者が一斉にスタートするロゲイニングイベントである。</p>	

☆スポーツ振興賞 (6作品)					
ス ポ ー ツ 庁 長 官 賞	<table border="1"> <tr> <td>作品名</td> <td>スポーツの力を活用したヘルスケア SIB 事業「ロアッソウェルネスプログラム」</td> </tr> <tr> <td>応募者</td> <td>株式会社 J.H. Wellness</td> </tr> </table>	作品名	スポーツの力を活用したヘルスケア SIB 事業「ロアッソウェルネスプログラム」	応募者	株式会社 J.H. Wellness
	作品名	スポーツの力を活用したヘルスケア SIB 事業「ロアッソウェルネスプログラム」			
応募者	株式会社 J.H. Wellness				
<p>作品の概要</p> <p>少子超高齢社会における社会課題である「健康寿命の延伸」。「予防」のための運動習慣の継続は、健康なうちから始めたいもの。しかし従来の「介護予防」のイメージにより、地域の運動を伴う通いの場参加者は、後期高齢者や介護保険の事業対象者が主となっており、男性や前期高齢者が、地域で運動習慣を継続できる場が少なかった。そこで、スポーツの力を活用した介護予防事業を、地域を代表する Jリーグクラブである「ロアッソ熊本」との連携で実現した。また新しい取り組みを自治体で実装するために、SIB を活用した。ロアッソ熊本オリジナル T シャツを着て 3 カ月 12 回の運動プログラムで構成されるこの事業は 2023 年度、年間 493 名が参加し、参加者層は従来の通いの場と比較して男性が 10% 弱の増加、前期高齢者が 45% 以上の増加となった。当事業では、プロスポーツクラブのカラーやロゴなどの商標やブランド、またこれに伴う有形・無形の力によって、今までの介護予防事業のイメージを変化させ、地域愛着が醸成される。「一生ここで暮らしたい」と考えている高齢者が多い中、地域愛着の醸成が運動継続による健康寿命延伸に寄与することが期待できる。</p>					
観 光 庁 長 官 賞	<table border="1"> <tr> <td>作品名</td> <td>おわせ海・山ツーデーウォーク</td> </tr> <tr> <td>応募者</td> <td>おわせ海・山ツーデーウォーク実行委員会</td> </tr> </table>	作品名	おわせ海・山ツーデーウォーク	応募者	おわせ海・山ツーデーウォーク実行委員会
	作品名	おわせ海・山ツーデーウォーク			
応募者	おわせ海・山ツーデーウォーク実行委員会				
<p>作品の概要</p> <p>世界遺産熊野古道が通る街「尾鷲市」。三方を山に囲まれた地形は、非常に雨の多い地域であるが、その多雨から道を守るために敷かれた重厚な石畳は、熊野古道随一と言われる程に美しく敷き詰められており、馬越峠を通るコースは毎回人気である。本大会は、社団法人日本ウオーキング協会、三重県ウオーキング協会の協力のもと、オールジャパンウオーキングカップなど 4 つの認定を取得し、全国的なスポーツ振興に貢献している。また、熊野古道を踏破するコースを設けるだけでなく、リアス式海岸の地形を活かした絶景が臨めるコースや、漁村集落ならでの雰囲気味わえる探訪コース、観光ガイドや語り部と共に歩くまち歩きコースなどを毎回工夫を凝らして設定しており、さらにその道中では尾鷲市でしか手に入らないスイーツや郷土料理でおもてなしを行うことで、食文化の継承と発信も行っている。尾鷲市ならではの風景・潮の香り・波の音が楽しめる、歩きたくなる・訪れたくなる魅力的なコースとともに、おもてなしやそこに携わる地域住民との触れ合いなど、五感をフルに使って楽しむことができる心満たされるウオーキングイベントである。</p>					

第12回スポーツ振興賞 受賞作品概要

<p>経済産業省 商務・サービス審議官賞</p>	<p>作品名 応募者</p>	<p>国内唯一 アマチュア向けスポンサーカスタムユニフォーム 「Outfitter」で青少年育成と地域活性化 イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株式会社</p>
<p>作品の概要 「Outfitter」は、お客さまが選んだスポンサー企業のロゴを印字したオリジナルウェアをオンラインで簡単に作成・購入ができ、スポンサー企業のロゴを入れる位置や個数に応じて、ユニフォームやチームウェア代金の10%～50%の割引が受けられる国内唯一のサービスです。商品としては、サッカー・フットサル、バレーボール、バスケットボール、チームウェア（Tシャツ、ポロシャツ、ピステ、ジャージ、パーカー）があり、2020年にローンチし、約4年間でユニフォーム累計受注件数約5,500件、受注枚数約55,000着と多くのアマチュアスポーツを支援しています。今後もASSUは、さまざまな協業先とともに協働することで、スポーツコミュニティの活性化に取り組み、地域スポーツの振興とみなさまの健康増進のベストパートナーを目指してまいります。</p>		
<p>日本商工会議所 奨励賞</p>	<p>作品名 応募者</p>	<p>冬季間の地域住民の健康と地域特性を活かした、 新たなツーリズム創出を目指すウインターパーク くしろウインターパーク実行委員会</p>
<p>作品の概要 この事業は、地域住民の健康促進と冬季観光コンテンツ創出を目的に2021年、コロナ禍にスタートしました。釧路商工会議所青年部と東北海道スポーツコミッションが共同で、雪・氷・寒さを地域特性として活かし、冬季に未使用の公園に7万球のイルミネーションを飾った珍しい散歩道型スケートリンクを設営しました。スケートリンクに加え、キッズ雪広場、アイススライダー、冬キャンプブース、長靴ホッケー、氷上サッカー、シュート体験、氷上綱引き、アイスクロスなど、他地域にはない独創的な体験イベントも開催。釧路名物「炉端」で地場の海産物も味わえるパークとなり、300人を超える幼稚園児が手作りしたペットボトルイルミネーションが会場を彩ります。青少年、民間企業、行政、商工会議所、多くの障がい者も設営に参加し、共生社会の実現を目指しつつ地域一丸でパークを運営。地域住民に愛されるこのパークは、冬季観光産業の起爆剤となり、地域活性化を推進します。将来的には札幌雪まつりに匹敵する北海道の代表的な冬の一大事業に成長させたいと考えています。</p>		
<p>日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞</p>	<p>作品名 応募者</p>	<p>ツノスポーツアカデミー 一般社団法人ツノスポーツコミッション</p>
<p>作品の概要 ツノスポーツアカデミーは、閉校した町内唯一の高校の代わりとなる新しい形の学校として2020年に開校。「良き社会人であれ」という育成哲学のもと、「スポーツ」「生活」「教育」「職育」「地育」の5つの活動を通じたデュアルキャリア教育を実践。「スポーツ」では、Jリーグ昇格を目指すヴェロスクロノス都農の下部組織として、充実した環境のもと質の高い指導で選手の可能性を広げる。「生活」では、設備やサポート体制の整った寮で町外、県外からの選手を受け入れ、高い目標を持つ仲間との共同生活により自立・自律した大人を目指す。「教育」では、提携する通信制高校に通いながら、個々の学びたい分野を重点的に学べる教育プログラムや独自の進路サポートプログラムで一人ひとりのキャリアを支援。「職育」では、地域の受入事業者での仕事を通じて、働くことの意義や大変さ、楽しさを学び、将来のキャリアの選択肢を広げる。職育で得た報酬をサッカーの費用や海外留学の資金、卒業後の進路のための備えにする選手も。「地育」では、地域の行事やイベントに積極的に参加するだけでなく運営にも携わる。地域の多様な世代と関わる中で、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域を引っ張るリーダーへと成長を促す。これらの活動を通じて、地域が一体となって若者を育成し、また若者も地域の担い手として地域を支えている。</p>		

第12回スポーツ振興賞 受賞作品概要

スポーツ健康産業団体連合会会長賞	作品名	金沢市ボディビル・フィットネスオープン大会
	応募者	金沢市ボディビル・フィットネス連盟
<p>作品の概要</p> <p>性別、年齢を問わず出場しやすく全国から出場可能のボディビル・フィットネス大会を運営しています。毎年他県からの出場者、観戦者に金沢を訪れて頂いています。学生が参加し易いように参加料に学割価格を設定。2024年度からは中高年からトレーニングを始める方の為に50歳以上のマスターズクラスを新設。2023年度から男女車椅子カテゴリーを新設。国際大会同様のカテゴリーの他に初心者も参加し易い独自カテゴリーも設けております。また、金沢市スポーツ協会に加盟し、市民の健康増進の一貫としての市民スポーツ大会としての大会も開催。ボディビル・フィットネス大会を通じて、場所や地域を選ばない生涯スポーツとしてのトレーニングを体作り、健康増進、介護予防として活用する方を増やし、やりがいと発表の場として大会に出場する生涯方の為に出場しやすい大会の開催を心がけてます。大会出場希望者を対象とする講習会を複数回(年平均5回)開催する事で連盟と選手、また選手同士が交流を持つ事により継続的に参加選手が増加しております。個人スポーツであるボディビル・フィットネス選手が増加する事による地域経済効果に貢献しています。</p>		